

会 議 録

会議の名称	令和5年度第5回ふじみ野市社会教育委員会議			
開催日時	令和6年1月16日（火） 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午後12時00分			
開催場所	ふじみ野市役所 第2庁舎 3階 B302会議室			
出席した者の 氏名 (委員15人 中11人出席)	役職名	氏名	役職名	氏名
	副議長	中窪由香理	委員	大久保昭男
	委員	山口ゆかり	委員	岩 舘 豊
	委員	千葉 信	委員	小澤真樹
	委員	石川健一	文化・スポーツ振興課長	吉村敏世
	委員	今井志子	上福岡西公民館長	内田徳子
	委員	江 科	事務局(副課長)	小林久美
	委員	越川直樹	事務局(主事補)	土屋瑠奈
	委員	長谷川節子		
会議の議題	(1)報告事項① 社会教育委員答申「ふじみ野市立上福岡西公民館の今後のあり方について」 (2)報告事項② 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会について (3)情報交換			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部 社会教育課			
議事の確定	確定年月日	令和6年1月30日		
	記名押印	役職名 副議長 中窪由香理 ㊟		

別紙

発言者	発言の要旨
小林副課長	(開会) 欠席者4名で会議成立、傍聴者0名の報告
中窪副議長	【報告事項①社会教育委員答申「ふじみ野市立上福岡西公民館の今後のあり方について」】 (議事進行)
小林副課長	(説明・答申内容及び概要)
吉村課長	(説明・文化振興審議会での意見等)
内田館長	(説明・公民館運営審議会での意見等)
中窪副議長	今の事務局に報告について質問、意見等ありますか。
山口委員	公民館は地域と築いてきた場所で、高齢者にとっても居心地がいい場所である。文化施設の計画に「親しみ」とあるが、職員と利用者のコミュニケーションがとても重要であると思っている。来館者と職員が挨拶できるような開けた事務室にしてほしい。
吉村課長	利用者懇談用の場所等の用意や、また利用者同士のつながりとして文化協会の窓口等も必要ではないかと思っている。地域とのつながりのためにも職員や社会教育主事の配置等については、必要だと思う。
山口委員	上福岡西公民館の市民文化祭に言った時、カラオケ大会を見に行った。昭和感がありとても良かった。知らない昭和の歌謡曲がたくさんあって、うたった人の思い入れがとても伝わった。その際職員は見ているだけだったが、参加して経験してみるのもいいのではと思った。参加してみて気づくこともあると思う。
小林副課長	公民館職員と一緒に体験して利用者と方向性を検討していくのは大事だと思っている。今後検討していきたい。
岩館委員	街づくりを進めていく拠点があったほうが良いと思う。例えば、大宮のアーバンデザインセンターであるとか、情報収集の場所として必要だと思う。ふじみ野市は大学と包括連携含めて進んでいるので、ステラ・イースト、ウェストとの差別化も含めて考えて欲しい。交通の便も良いので、子育て世代や若年世代をどのようにとりこめるか、大学がどう関われるか考えたい。

吉村課長	<p>施設整備は市が行い、そこに魂を入れるのは利用する皆さんとの話がある。利用者単独で出来ない事業を文化協会等団体に協力しあって、創作活動や展示会などの活動ができるようにしていきたいと考えている。</p>
小林副課長	<p>ふじみ野市でも協働推進課の市民活動支援センターが上福岡駅前にある。社会教育としてもまちづくりは重要だと認識している。市民活動支援センターとも連携しながら、そういったものも作っていきたい。</p>
大久保委員	<p>社会教育法20条の公民館の内容と、計画の中の施設の位置づけは変わらないように感じる。公民館の枠組みにとられない施設とするのであれば、内容をもっと検討しないと位置づけが難しくなると思う。公民館の名前はなくても社会教育施設なのか。ステラ・イースト、ウエストは現在指定管理だと思う。新しく改修する施設は社会教育の拠点としておかないと、ふじみ野市の社会教育が衰退していくと思う。</p>
吉村課長	<p>ステラ・イースト、ウエストも公民館活動が出来る場所として、市は従来通り進めている。市が従来まで行っていたことを指定管理者が引き継ぎ、出来ないところを市が補う。従来から+αで進めなくてはいけないと考えている。そこがまだ十分できていないと感じている。</p>
大久保委員	<p>指定管理者は市の住人ではないので、市のことを考え、今後どのようにしていくか考えないと思う。職員をしっかりと配置して指定管理者と、市民と一緒に考えていかなければいけないと思う。</p>
内田館長	<p>職員の配置は未定である。社会教育の拠点としては社会教育課がやらなければいけない。新しい文化施設で課題としている相談業務等は、社会教育所管課と、指定管理者を含む民間、学校等地域との連携で補っていきたい。</p>
小林副課長	<p>社会教育としての問題だととらえている。今後どのように展開するか、人材の育成、体制の強化、今後の事業計画等しなければいけない。そうでないと施設を生かせない。</p>
大久保委員	<p>ふじみ野市は生涯学習の担当課と社会教育の担当課が分かれている。生涯学習と社会教育を兼ねる施設があるのであれば、課を2つに分ける必要がない。なにを目指すか、「社会教育」は必要である。国の計画でも「社会教育の充実」は言われている。便利さなどに流されてはいけない。</p>
小林副課長	<p>地域の関係の希薄さは長年言い続けられている課題である。関係を作るには持続性が大事。どのような拠点、人や学びを作っていくかは悩んでいる所。予算をかけずにできる場所もあると思う。そういったことをまずは進めていきたい。</p>

江委員	<p>ふじみの国際交流センターは上福岡西公民館と連携してよく事業をしている。2月から日本語ボランティア育成講座を予定している。「社会教育」として外国人を対象として行っているのは上福岡西公民館のみに感じている。上福岡西公民館がなくなったらどうなるのか不安だったが、他の人の質疑を聞いて少し安心した。上福岡西公民館が指定管理になった時、指定管理者の館長とうまく連携できるか不安である。</p>
内田館長	<p>施設の運営とは関係なく、事業は変わらず社会教育所管課の職員が行う。地域の外国の方の支援は引き続き行う予定である。ハードは指定管理、ソフトは市職員が行っていくと考えている。今後どのように行うか、指定管理者とどのように連携するか、民間とどのように連携を広げられるか、そういったものは課題だと思っている。</p>
江委員	<p>今は上福岡西公民館に市の職員が常駐している。なにかあればすぐ話に行ける。指定管理になったら直接事業の相談がしづらくなると思ってしまう。今は職員と話しやすい。他の利用者と話しているのも見る。産業文化センターを利用したときはそういったものが見えなかった。市の職員が常駐するというのには意味がある。検討していただきたい。</p>
吉村課長	<p>ステラ・イースト、ウェストは指定管理となり、市の職員の配置は0人。サービスは上がったとの声は聞いている。話しやすさ、相談のしやすさは下がってしまうといった話は聞いている。利用者とは初対面となるので、出来るだけ施設に行くようにして、指定管理の職員にそれぞれ人の紹介や説明をしている。サービスが上がらなければ指定管理の意味はない。職員が出来るだけ施設に通っていきたい。</p>
越川委員	<p>ソフトとハードは切り離す。現在ステラ・イースト、ウェストに職員が施設に常駐しないが、公民館事業の相談は上福岡西公民館で受けていると思う。そうすると職員の場所の問題ではないと思う。職員が施設にいた方がいいのはそうだと思う。ステラ・イースト、ウェストでの公民館事業や社会教育の話は現在上福岡西公民館でしているのであれば、その相談場所が上福岡西公民館から変わるだけだと思う。市の公民館事業をどこが担っているかしっかりと示して欲しい。</p>
大久保委員	<p>指定管理者は施設管理のプロなので利便性はもちろん上がる。日常的な支援を指定管理はできない。「社会教育」を推進していくのは職員である。利用者と職員がどのように連携して進められるか考えなくてはいけない。</p>
長谷川委員	<p>社会教育委員の立場として、専門性が薄れるのは良くないと思う。学習の場が狭くなってしまっても良くないと思う。公民館運営審議会も文化施設になると構</p>

	<p>成メンバーも変わり教育関係者の人も少なくなってしまうのではと思う。教育の面もしっかり残してほしい。</p>
内田館長	<p>文化には文化振興審議会がある。そことは別に公民館運営審議会の役割を担う組織は残っていく方向で調整を進める。</p>
吉村課長	<p>文化・スポーツ振興課は文化、芸術、スポーツ振興、文化施設の整備を行っている。「社会教育事業」は従来通り社会教育課で担うもの。文化施設の指定管理者のなかにも社会教育主事として行政で働いていた経験のあるものがあるので、指定管理者でも独自の事業を行っている。指定管理者も事業は行うが、主な担当としては教育委員会が行っていくものである。</p>
小林副課長	<p>講座などが社会教育事業として思い浮かぶと思うが、日々の会話や相談のなかで課題等が見つかるものが多い。人と人の繋がりが大事である。指定管理者にもそういった意識は必要である。</p>
越川委員	<p>指定管理がどのように施設運営をするかはしっかり市が指導してくれるものだと思わないといけないと思う。</p>
小林副課長	<p>指導というよりも、指定管理と市と一緒に作っていくという気持ちで行きたい。</p>
小澤委員	<p>地域コーディネーターと活動しているが、地域コーディネーターと公民館のつながりは大きいところ。私は今社会教育課に相談したりしているが、人が変わったら公民館とどのように関わればいいのか分からない。また、大井地区に住んでいると「上福岡」西公民館だとなんだか遠く感じる。東台小の跡地の活用法も公民館機能があるとうれしい。</p>
内田館長	<p>上福岡西公民館は亀久保小学校と連携して事業をしている。西原小学校からも依頼がある。地域のサークルからの人材紹介の依頼も受けている。社会教育課と上福岡西公民館も互いに情報共有し合いながら行っている。公民館から各市長部局を紹介することもある。どこが窓口か示すのが大事だと思った。窓口の場所が変わっても引き続き行っていきたい。</p>
吉村課長	<p>学校との連携は各課でも行っている。アウトリーチ事業であるとか、学校での文化施設の活用であるとか、部活動の地域移行の話も文化・スポーツ振興課で行っている。話や依頼が来た時に受け入れられる体制は整えている。施設は今までの利用者も、利用したことない人も使える施設をコンセプトにしている。新しい施設のコンセプトについては、今後検討予定。</p>

石川委員	社会教育をやっているという認識がなく無自覚で社会教育事業を行っていたところもある。これから社会教育はどうなるのか考えなくてはいけないと思っている。
今井委員	あまり社会教育とはどういうものか分かっていなかった。施設はおしゃれなだけではいけないと思う。教育はこれから大事だと思うので考えていきたい。
千葉委員	私たち委員も分かっていないことがあるので、市民はもっと理解していないと思う。社会教育の推進は市職員がしていくことなので頑張ってもらいたい。
大久保委員	公民館から文化施設になっても社会教育を担うなら、やっぱり今のままではいけない。地域学校協働活動の推進にも関わる課題だと思う。
小林副課長	ふじみ野市の社会教育は大きな岐路に立っている。行政だけでなく、市民と一緒に考えていきたい。
中窪副議長	(議事進行)
吉村課長	(退席)
内田館長	(退席)
中窪副議長	【報告事項 2 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会について】 (議事進行)
小林副課長	(県社連脱退の説明) ※前回欠席委員のために概要を簡単に説明
中窪副議長	今の事務局に説明について質問、意見等ありますか。
越川委員	入間地区はそのまま加入し、県の協議会のみ抜けるという認識でよいのか。
小林副課長	そのとおり。
越川委員	ふじみ野市のPTA連合会と同じ構図になる。ふじみ野市のPTA連合会も入間地区には加入しており、県の団体には加入していない。県は大きな催しばかりで、情報交換を目的とするならば入間地区の団体に加入していれば良いと思う。
小澤委員	入間地区社会教育協議会の社会教育委員部会の中では、埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会から抜けると全国の情報が入ってこなくなるのではといった意見が出ており、私は情報が入ってこなくなるのではというのが引かかる。簡単

	に抜けていいものなのかと思ってしまう。
越川委員	今までどんな情報が県社連から入って来るのか分からないが、色んな事務負担をかけてまで得る必要がある情報なのか。情報は行政のルートでも得ることはできる。
小林副課長	関東甲信越ブロックの報告会では実践の発表が活発で、分科会も充実している。参加する事で勉強になる。県社連を脱退しても参加する事は可能。
小澤委員	関東甲信越ブロックの報告会に参加した情報が共有されないとあったが、共有されないというのが問題だと思う。現在共有されなくて困っているわけではないが、外の情報を遮断してしまうというのが気になってしまう。
千葉委員	県社連から抜けるが、入間地区からは抜けないという認識で良いか。
小林副課長	そのとおり。
千葉委員	13市町のほとんどが脱退に賛成であれば、特にこちらから意見することもない。私は前まで入間地区に参加していたが、県社連にはほとんど関わることがなかった。入間地区で情報交換をしていた。県社連からの脱退には賛成である。
大久保委員	私が前までいた和光市は南部地区に入っている。南部地区は県社連に加入していない。県社連に加入していなくても困らない。国の情報等は県から降りてくる。県の情報も教育委員会に降りてくる。県社連に加入している目的はなんなのか、その目的が達成されているのであれば加入している意味がある。情報交換が目的であれば、入間地区で充分である。
石川委員	入間地区で情報交換を行っているが、市町の規模により事業の課題が異なり、参考にするというのも難しい。入間地区に参加している社会教育委員の方でも県社連の研修会などに参加している人はあまりいない。それであれば、もっと入間地区の会議の充実を目指した方がいいという意見がある。
中窪副議長	(議事進行 情報交換)
小林副課長	本日は時間が来てしまったので、情報交換については配布資料のあった石川委員からのみ説明をお願いします。
石川委員	「スポーツライフふじみ野」はスポーツ協会で毎年出している広報誌で、事業の紹介や団体の紹介を載せている。今年は計画の策定があったので、その説明会を兼ねた研修会を行い、その紹介も載せている。その研修会に工藤さんと、平沢

	<p>さんと、八尾さんをお招きし、お話しもして貰った。市報と一緒に全戸配布予定。もう1枚のチラシは市の委託を受け、行う事業で、小学生～中学生を対象としたスポーツ教室の紹介。学校を通じて配付予定。</p>
中窪副議長	<p>その他として、事務局から何かありますか。</p>
小林副課長	<p>(任期满了・委員推薦のお願い)</p>
中窪副議長	<p>(閉会)</p>